



帖佐小学校だより

帖佐の風

令和2年11月発行 第7号

【校訓】やさしく かしく たくましく

【キャッチフレーズ】チャンス・チョイス・チャレンジの帖佐小

ブログもぜひご覧ください。

<http://chosa.synapse-blog.jp/chosa/>



一瞬の言葉の重さ

校長 牧野田 弘一

6年生を担当し、卒業の日を迎えた時のこと。Aさんが小さく折りたたんだ手紙を渡してくれました。子どもたちがいなくなり、静かな教室で手紙を開きました。

「先生の記事の返事を読むのがいつも楽しみでした。私が一番うれしかったのは5年生の10月2日の記事です。」

1年半も前のことです。しかも日付まで書いてある。私は一体何を書いたのだろう。

「先生の子どもが生まれた日の記事です。私の誕生日と同じだったのでびっくりしたと書いたら、先生が『Aさんと先生の子どもが同じ誕生日でうれしいな。Aさんのようにやさしい子どもになってほしいです』と書いてくれました。」

教員になって2年目の苦い思い出。陸上記録会の選手選考のために5・6年生の子どもたちが放課後、校庭に集まりました。どの子どもも記録会に出たくて必死です。私は走り幅跳びの担当でした。一人2回のチャレンジを終えて、子どもたちが記録の担当職員の周りに群がっているのを見て、私は「はい帰る、帰る」と言ってしまいました。

全体集合して解散しようとした時、Bさんが手を挙げて涙を浮かべながら訴えました。「先生は、みんなが一生懸命頑張っているのに、どうして『帰る、帰る』なんて言うのですか」。その場ではもちろんですが、18年後の同窓会であらためて謝罪しました。Bさんは「(私は) 生意気な子どもでしたね」と笑って話してくれました。

「教育は一瞬にして永遠なり」。先日出席した会議でこんな言葉を教えていただきました。私たち大人が子どもに対して見せる言動は一瞬です。それでも子どもたちの心には良くも悪くも永遠に残ることがあります。

思ったことを即座につぶやくことが当たり前となってしまう。今だからこそ、一瞬の言葉の重さを肝に銘じたいと思います。



咲き誇る花を楽しみに

夏はサルビアやマリーゴールドで彩られていた学級園ですが、春咲きの花およそ1700本の植え付けをしました。パンジーやリビングストーンデイジーなどが春の花壇に咲き誇ることを今から楽しみにしています。

先日の全校朝会で「水かけ」だけでなく「声をかける」「目をかける」「手をかける」ことを大切にするよう話したところ、早速子どもたちが「早く大きくなあれ」と話しかけている様子を見ることができました。

また、それぞれの心の中に咲くオンリーワンの花（優しさや思いやり、粘り強さなど）もまわりの人と一緒に大切に育てて素敵な花を咲かせてほしいという話もしました。

花壇の花も、子どもたちの心の中にある花も咲き誇ることを願っています。



学級園への植え付け

家庭と学校で共に育てたい力

テストの点数として表れる認知能力（漢字や計算を書いたり地図を読んだりする力）に対して、非認知能力という力があります。

例えば「最後までやり抜く力」「他の人と協調する力」「集中力」「創意工夫する力」などです。これらの力は子どもたちの将来や人生を豊かにすると言われています。

また、認知能力と非認知能力は互いに関係して向上していきます。例えば、どんなに計算が得意でも粘り強さが育っていなければ、難しい問題を途中で投げ出してしまいます。

先日の土曜参観日に保護者の皆様に、家庭と学校で一緒に非認知能力を育てることを提案しました。

右の枠の中にまとめましたので、参考にいただければ幸いです。

安心 子どもたちが誰にでも相談できる環境づくり
 挑戦 少し背伸びしなければできない課題
 尊重 思いや願いを受け止める
 提案 叱った後には「こうしてみれば」
 我慢 すぐに与えるのではなく
 共感 うれしいときは一緒に喜び、つらいときは一緒に悲しむ
 ※ 大前提は無償の愛



教育講演会に出席いただき、ありがとうございました。

知れば知るほど

11月22日に開催された「サイエンスあいらんど」で鹿児島大学名誉教授の大木公彦先生が「こんなにステキ！世界に誇る始良の自然とその恵み」と題して、講演をされました。お話の中に「鍋倉火砕流」「天福寺の磨崖仏」と校区に関係する名前が出てきました。

6年生が修学旅行で訪れた仙巖園では、世界遺産に指定された反射炉で製鉄していたところに原料として使われた鉄は鍋倉製鉄所で作られていたという説明がありました。

まだまだ校区には歴史や文化が埋まっているようです。子どもたちに魅力を伝えていきたいと思えます。



仙巖園で反射炉跡を見学する6年生

入賞おめでとうございます！

学校を通じて応募した作品展で、たくさんの子どもの頑張りをお認めいただきましたので紹介します。

- 【南さつま児童生徒美術展】
 佳作 3年 池端○○ さん
- 【始良伊佐地区 税に関する作品】
 習字の部佳作 5年 中野○○ さん
- 【第22回かわなべ青の俳句大会】
 特選 3年 羽月○○ さん
- 【第63回県児童生徒作文コンクール】
 入選 1年 有馬○○ さん



今年取り組んだ「人権の花運動」に対して、鹿児島地方法務局から感謝状と、「人KENあゆみちゃん」と「人KENまもるくん」のぬいぐるみをいただきました。

※ 個人情報保護の観点から児童氏名の一部を伏せてあります。

12・1月行事予定

【12月】～4日 校内人権旬間	【1月】	校内読書旬間 18日(月)～29日(金)
2日(水) 人権集会(2～5年)	8日(金)	始業式(給食があります)
3日(木) 人権集会(1・6年)	13・14日	鹿児島学習定着度調査(5年)
7日(月) 帖佐っ子を育てる会	14日(木)	授業参観
10日(木) 持久走大会、学級PTA	21日(木)	新1年生入学説明会(保護者のみ)
※ 予備日 15日(火)	26日(火)	帖佐中学校入学説明会(6年)
14日(月)～ 学用品持ち帰り週間		
24日(木) 終業式(給食はありません)		

※ 新型コロナウイルス感染症対策のために、実施内容や時期を慎重に検討し、変更する場合があります。どうぞご理解ください。